

- Ein neues Profil für den Herdraum des Siemens-Martin-Ofens. *F. Bartu u. E. Boelens.* S. 152~158
- 76 (1956) Heft 4
- Die Forderungen des Walzwerkers an den elektrischen und mechanischen Teil von eingerüstigen Umkehrstraßen. *E. Wilms.* S. 185~192
- Maschinentechnischer Entwicklungsstand neuer eingerüstiger Umkehrstraßen *W. Dehne S.* 192~201
- 76 (1956) Heft 5
- Über ein Verfahren zur Verschleißmessung beim Drahtziehen mit aktivierten Ziehsteinen *W. Drahl u. W. Lueg S.* 257~261
- Neue Entwicklung bei der Herstellung von Weißblech. *B. Keysselitz. S.* 267~272
- Verfahren zur Bewertung der Güte von Weißblech *W. E. Hoare. S.* 273~277
- Chemische Nachbehandlung von Weißblech. *E. S. Hedges. S.* 277~280
- 76 (1956) Heft 6
- Die Wertigkeit verschiedener Brennstoffe bei der Verhüttung in Hochofen und in anderen Schächten. *F. Lüth. S.* 317~322
- Die Entphosphorung von Thomasstählen. *K. G. Speith u. H. von Ende. S.* 323~331
- Beschaffenheit der Teere für Teer-Dolomit-Mischungen *J. Massinon. S.* 331~333
- Versuche zur Trockenzerkleinerung von Sinterdolomit im Kollergang. *P. Delong. S.* 333~334
- Beeinflussung der Konverterböden durch Abkühlung. *P. Delong. S.* 334~335
- 国内最近刊行誌参考記事目次**
- 学協会誌 —
- 日本金属学会誌 20 (1956) 2
- 電解焼入法 (I) 浸漬式. 大和久重雄, 他…p. 63
- Strain Tempering (KRK 法) に関する研究 (VI) 松岡甚五右衛門…p. 67
- 滑り磨耗に関する研究 (I) 小川喜代一…p. 71
- 球状黒鉛鑄鉄の耐磨耗に関する研究 (I) 高瀬孝夫, 他…p. 74
- フェロアロイ分析法の許容差について (I) 今井琢也, 他…p. 77
- 高温における Fe-Al 合金の Wiedemann 効果. 白川勇記, 他…p. 81
- 熔融 Fe-Si-C 系の Si および C の活量について. 大谷正康…p. 96
- 加熱および冷却による炭素鋼棒の変形について (VI) 稲垣道夫…p. 108
- 高温顕微鏡によつて観察したペーナイト変態の Surface Relief Effect. 津谷和男, 他…p. 112
- 20 (1956) 3
- アルミニウム被覆鋼に関する研究 (I) 嵯峨卓郎…p. 121
- 焼入冷却剤の研究 (VIII) 多賀谷正義, 他…p. 124
- 耐衝撃用工具 Si-Cr-W 鋼の諸性質に及ぼす Si の影響. 小柴定雄, 他…p. 129
- 高炭素—高クロム鋼の硬度および磁性におよぼすサブゼロ処理の影響. 小柴定雄, 他…p. 135
- Strain Tempering (KRK 法) に関する研究 (VII) 松岡甚五右衛門…p. 138
- 恒温変態処理に関する基礎研究 (II) 三谷裕康, 他…p. 147
- 常温塑性加工せる金属の焼鈍による変化 (VII) 関口春次郎, 他…p. 150
- 鉄—モリブデン合金の時効硬化の磁気的研究 (I) 三島徳七, 他…p. 165
- 〃 (I) 三島徳七, 他…p. 169
- 分析化学 5 (1956) 4
- イルメナイト中の鉄およびチタン簡易定量方法 溝口修一郎…pp. 229~230
- 熱管理 8 (1956) 2
- 平炉における耐火材料の変遷について. 毛利定男…pp. 35~38
- 假炭炉の燃焼室温度管理について. 福井博之…pp. 38~43
- 川崎製鉄葺合工場における計量管理について. 吉村英喜…pp. 43~46
- 熔接学会誌 25 (1956) 4
- Slow Bend による熔接熱影響部の切欠脆性について (I) 渡辺正紀, 外…pp. 19~23
- 熱影響部の脆化について (VI) (その1, その2) 応和俊雄…pp. 24~31
- 窯業協会誌 64 (1956) (No. 723)

コークス炉耐火物の侵蝕に関する研究. 青武雄. 外…
pp. 119~125

標準化 9 (1956) 5

製鋼側からみた造船用厚板寸法の標準化について.

伊藤正夫…pp. 353~356

造船側からみた造船用厚板寸法の標準化について.

遠山光一…pp. 357~359

材料試験 5 (1956) (No. 32)

常温以上で加工した軟鋼の低温焼鈍の影響. 桜井忠一
外…pp. 282~

薄板の剪断加工における剪断速度の影響. 下村英太郎
外…pp. 287~

流動鑄込の動的測定. 沢井郁太郎外…pp. 292~

—研究機関—

東北大学研究所報告 8 (1956) 2

The Density, Magnetic Properties, Young's Modulus, and ΔE Effect, and Their Changes Due to Quenching in Ferromagnetic Iron-Aluminium Alloys. I. The Density and Magnetic Properties. M. Yamamoto and S. Taniguchi pp. 112~124

Studies on the Flame Spectrochemical Analysis IV. Rapid Determinations of Calcium and Magnesium in Basic Slags. S. Ikeda pp. 134~141

科学研究所報告 31 (1955) 6

珪素鋼板の熱処理について (I) 武井 武外…
pp. 363~371

—会社刊行誌—

製鉄研究 (No. 213)

リムド鋼の熔製温度に関する研究 (I)
(適正出鋼温度の決定と鋼浴温度調整の概要につい
て) 山野井博, 外…pp. 1099~1111

平炉能率向上のための平炉の構造並びに燃焼 (I)

田尻惟一, 外…pp. 1112~1139

最近の深絞用鋼板製造上の諸問題について. 駒田日洲,
雄…pp. 1140~1149

低クリンカ高炉セメントの基礎研究. 後藤一夫, 外…
pp. 1150~1158

製鉄工場にけおるコイル輸送設備について. 深田健三
pp. 1159~1174

電気製鋼 27 (1956) 2

オイルテンパードワイヤの研究. 浅田千秋, 外…
pp. 55~62

不消化石灰の実用試験. 錦織清治, 外…pp. 63~68
鑄鉄用電弧溶接棒. 岡田泰治, 外…pp. 69~75

日本鋼管技報 (No. 5)

高炭素フェロマンガンを精錬におけるドロマイト使用に
ついて. 松山琢磨, 外…pp. 1~7

各種鋳材の製鋳および鋳による材質的变化. 堀川一
男, 外…pp. 8~20

加熱鋼塊および鋼片の輻射率. 千原光一郎…pp. 21~
26

極間式連続磁気探傷器について. 赤沢雄二…pp. 27~
33

原料配合操作における 2, 3 の考察. 稻原敏雄, 外…
pp. 34~40

平炉装入口扉に適用せる塩基性キャストブル耐火物.
島田信郎, 外…pp. 48~53

シリコクロムの炭素溶解量と脱炭機構について.
清水定雄…pp. 54~60

日立造船技報 17 (1956) 2

高張力鋼の工作法に関する研究. 中井恒男, 外…
pp. 1~7

ひずみ取作業の際の加熱冷却条件が鋼材に及ぼす影響
中井恒男, 外…pp. 21~26